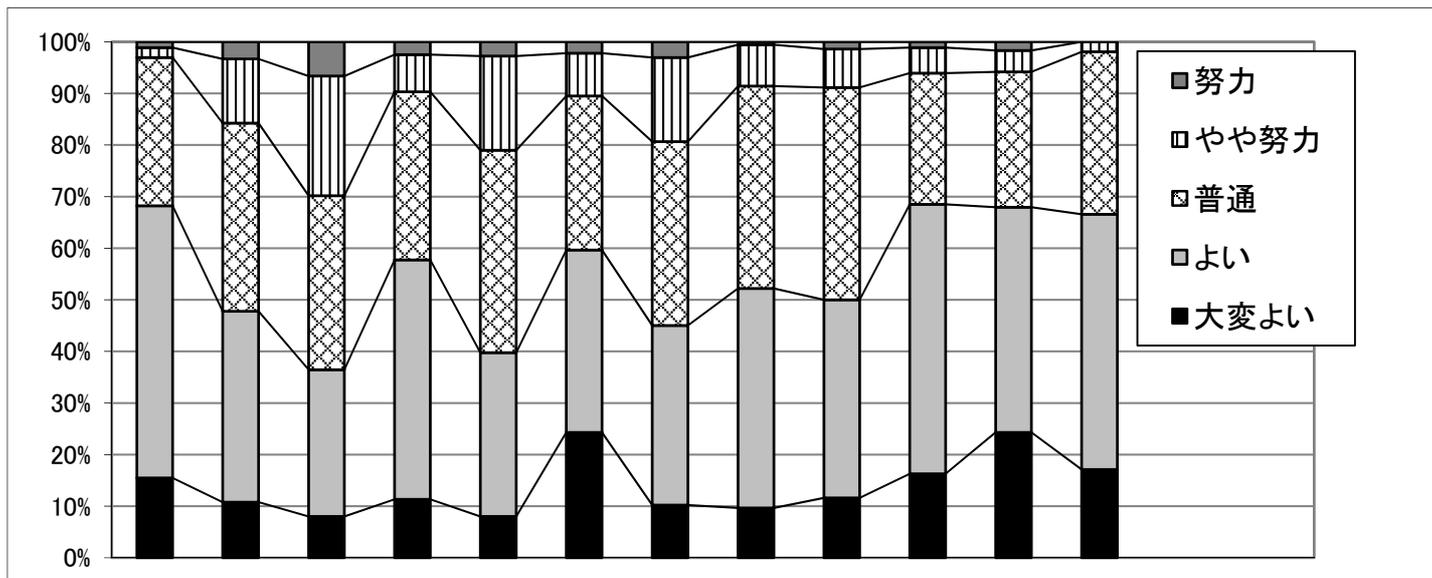


保護者アンケート結果のお知らせ

早春の侯、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、2学期末にご協力いただきました「家庭・地域と連携したよりよい学校づくりのためのアンケート」(保護者アンケート)の結果を報告いたします。保護者の皆様方が多くの項目に対して好意的に受け止めてくださり、温かい励ましのご意見やさらなる改善に向けてのご意見をいただきました。ありがとうございました。ご意見を真摯に受け止め、さらによりよい平野小学校になるよう、保護者・地域の皆様方とともに努力して参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



- ① 学び合いを取り入れた日々の授業改善への教職員の取り組みは、子どもたちの学びや成長につながっていると思いますか。
- ② お子さんは授業が楽しいと感じ、意欲的に取り組んでいると思いますか。
- ③ お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしょうか。
- ④ 学校は、子ども一人一人が大切にされ、お互いによさや違いを認め合える安心な生活の場になっているでしょうか。
- ⑤ 家庭、学校、地域等で見られるお子さんのあいさつや返事はどのようか。
- ⑥ お子さんは、学校へ喜んで行っていますか。
- ⑦ お子さんは、自分の健康に関心をもって、よい生活習慣を身に付けようとしていますか。
- ⑧ 子どもたちは登下校の交通安全に気を付けているでしょうか。
- ⑨ 本校は、交通安全への取り組みや不審者の対策等に十分な配慮をしているでしょうか。
- ⑩ 学校要覧、学校便り、学年・学級通信、ホームページ、連絡メール等で学校の教育内容や教育活動が分かりやすく伝えられているでしょうか。
- ⑪ 一人一台のタブレットを活用した授業を行っています。情報モラルを高める授業も進めています。この取り組みはどうでしょうか。
- ⑫ 地域の方と関わりながら行っている教育活動の取り組みはどうでしょうか。

回答数: 362
 児童数に対する割合
 74.9%

アンケート結果の分析から

- 【①日々の授業改善】【④学校が安心な生活の場】【⑥学校へ喜んで行っている】【⑧登下校の交通安全】【⑨交通安全・不審者対策】【⑩教育内容や活動の発信】【⑪ICT教育】【⑫地域の方との交流】の項目では、「大変よい・よい・ふつう」が、90%を超える評価をいただき、私たち職員一同の大きな励みであります。
- 【①日々の授業改善】は97%の高評価をいただきました。学校の教育活動の中心であり、大切にしなければならない

のは、毎日の授業です。今後も「学び合い」による授業改善の取り組みを進めていきたいと思います。子どもの「わからない」に寄り添い、「子どもの声を聴き、つなぐ授業」に取り組み、「できた」「わかった」という喜びが持てる子どもが一人でも多くなるよう努めていきたいと思います。それが、【授業が楽しい・意欲的に取り組む】にもつながってくると考えます。

- 【③家庭学習への取り組み】【⑦基本的な生活習慣】は低い評価となっています。「家庭学習の手引き」を活用していただいたり、学級懇談会や個別懇談会などで家庭学習の取り組み方を考え合ったりして、ご家庭と連携して進めていきたいと思えます。また、家庭学習の時間と生活習慣は関連があります。あいさつも基本的な生活習慣と言えますし、ゲームやメディアとの関わり、タブレット使用も同様であると考えます。ご家庭と学校が協力して取り組んでいきたいと思えます。
- 【④学校が安心な生活の場】は90%の評価をいただきました。学校が、子ども達にとって自分が認められ安心できる場であることをこれからも目指していきたいと思えます。一方「努力を要する」のお声もあります。子ども一人一人に寄り添い、悩みや不安を真摯に受け止め、対応していきたいと思えます。また、個別相談の時間を設けたり、Q-U検査や友だちアンケート等を活用したりして、安心して過ごせる学校・学級づくりを進めていきます。
- 【⑤あいさつ・返事】については、昨年度より評価が上がりました。家庭や地域、学校での取り組みの成果が少しずつ表れているかと思えます。児童会では代表委員会を中心に「あいさつ当番」や「あいさつパズル」等の活動を行っております。しかし、アンケート結果を見ますと「大変よい」「よい」は合わせて40%です。一方で、あいさつ・返事についての児童の自己評価は比較的高くなっています。保護者と児童の意識のずれが大きく見られます。今後も家庭・地域、学校が一体となり、相手意識を持ったあいさつや返事について子どもたちに伝えたり、働きかけたりして、気持ちのよいあいさつ・返事が響く、平野小学校を目指していきます。
- 【⑥学校へ喜んで行っている】は、昨年度より4%上がり、90%の評価をいただきました。友だちアンケートや相談の時間、またQ-Uの実施結果の分析を続けてきていることや、職員間で子どもたちの情報を共有し、個々の子どもたちに寄り添い、安心して過ごせる学級づくりを心がけていることが、子どもの姿として保護者の皆様に伝わったことを大変うれしく思えます。好意的なご意見が多い中、いじめを不安視する声も複数寄せられています。今後も子どもや保護者の声を真摯に受け止め、迅速かつ丁寧な対応を心掛けてまいります。
- 【⑧登下校の交通安全】【⑨交通安全・不審者対策】は、ともに91%の評価をいただきました。子ども達の登下校の安全については、見守りボランティアの方々や校外指導部・交通安全部の方々、そして保護者の皆様に、日ごろから登下校の様子を見守っていただいていることに感謝申し上げます。しかし、登下校中の子どもたちのいたずらや寄り道、危険な行為について、地域の方からご連絡をいただくこともありました。また、自転車乗りについて、危険な姿があるというご意見をいただいています。今後も、折に触れて安全指導を重ね、子どもたちの安全意識を高めていきたいと思えます。そして、自分自身を守れる力を付けていきたいと思えます。
- 【⑩教育内容や活動の発信】は94%の評価をいただきました。学年通信や学校だより、ホームページ等を通して、子どもたちの活動の様子や思いが保護者の皆様にお伝えできるよう心がけております。また、配信アプリ tetoru を導入し、学校からの連絡等をお伝えしたり、お便り等も配信したりするようになりました。情報が速やかに、かつ、確実に保護者の皆様に伝わるといった利点を皆様にもお感じいただけているのではないかと考えます。また、tetoru の欠席連絡がとても便利でありたいという声も多く、tetoru の導入を好意的に受け止めていただいていることに感謝申し上げます。今後も tetoru を活用し、連絡や情報共有、子どもたちの様子等を迅速に伝えていけるように心がけてまいります。
- 【⑪ICT教育】は94%の評価をいただきました。タブレットを有効活用した授業を進めており、多くの保護者の皆様に好意的に評価していただきました。学級閉鎖等でのオンライン授業を要望する声もありますが、タブレット活用の意義と目的をもう一度見直し、より有意義な活用方法を探ってまいりたいと思えます。また、タブレット使用へ不安を感じている方もいらっしゃいます。学校と家庭で連携を取り合い、タブレット使用のルールや情報モラルを高める取り組み(児童への指導・家庭への啓発)を検討していきたいと思えます。
- 【⑫地域の方との交流】は98%と高評価をいただきました。今年度も、地域の方が講師となったクラブ活動を実施することができました。また、焼いも集会に畑作りでお世話になった西江部健友会の方をお招きしたり、お話クローバーや登下校の見守りボランティア、ミシン、稲作指導などひらのっ子応援団の方々との関わりをもったりすることもできました。今後もひらのっ子応援団の活動を中心に、多くの方との交流を進めていきたいと思えます。

保護者の皆様からのご意見

個人的なご意見に対しては、個々に回答させていただきます

- クラスの雰囲気、先生の見えていないところでのいじわる、暴言が気になってしまい、登校を渋ることもあるので安心して通える環境になるといいな、と思っています。
- いじめ防止のための教育・取り組みは、皆が楽しく学校生活を送れるよう、誰もがいじめの加害者・被害者・傍観者にならないために重要なことです。学校では、小さなトラブル、子どものサインを見逃さないよう、教職員の皆さんでクラスを横断して見守りや指導を行ってほしいです。また各家庭は、子の教育を学校任せにせず家庭で話し合う機会を設けることも必要だと思えます。
- 学校で言われてくる言葉の暴力の回数が増えた。我が家ではケアしているので不登校にはなっていないが、ケアにも

限界はきてしまうので、学校でしっかり相手の気持ちを考える学習をしてもらいたい。言葉の暴力はいつまで経っても消えませんが、そのことを子供達に十分理解してもらいたい。

→言葉が人の心を深く傷つけることがあることを十分に伝え、相手を思いやる温かな言葉があふれる平野小学校にしていきたいと思えます。また、職員は常にアンテナを高くし、子どもの様子をしっかりとらえることができるよう努めていきます。担任だけでなく、本校の職員全体で子どもたちの情報を共有し、指導・支援してまいります。

- インフルエンザや怪我、通院などで休む際、勉強の遅れが非常に心配です。1人1台のタブレットが折角あるので、活用してオンライン授業が受けられるようにしてほしいです。

- インターネットを日常で使う中で、情報収集し易いなど良い面もありますが、不適切な大人向けの動画や画像に触れてしまうことがあります。単純に制限をかけるだけではなく、正しい知識を身につけられるよう、また性犯罪から身を守ることができるように、低学年からの性教育が必要だと思えます。プライベートゾーンについては保育園から教えている地域もあります。大人も戸惑う分野ですが、学校や家庭で子どものために何が出来るか考え、教えていくべきだと思えます。正しい知識がないまましていると、SNSのトラブルに巻き込まれたり、中高生になった時の望まない妊娠などが心配です。

→コロナ禍を機にタブレットが導入され、4年が経とうとしています。今や、学校や社会において、タブレットをはじめICT機器はなくてはならないものとなっています。知りたい情報を素早く得ることができる、子ども同士で情報や考えを共有できる、写真や動画を利用することでよりリアルな記録ができたり、より子どもたちの視覚に訴える学習ができたりするなど、タブレットを使う利点は様々です。一方で、使い方を間違えたときのリスクの高さが非常に懸念されます。オンライン授業のよさは、家庭に居ながらにして授業に参加できること、クラスや友達とつながり、雰囲気を感じられることなどがあります。一方で、教室の授業とオンラインの同時進行の場合、画面越しにはうまく内容が伝わらないことが心配されます。子どもたちにとってより適切に、より有意義な使用ができる方法を探していきたいと思えます。また、学校と家庭で連携し、タブレット使用のルールの徹底や情報モラルを高める取り組みを検討していきたいと思えます。

- 宿題が多い。学校行事があった日は宿題がない日があってもいいのでは。メリハリも必要。
- 色々な原因で不登校のお子さんがありますが、一つ、宿題が原因で学校を休むというのを聞きました。そこから宿題が溜まってしまい行きづらくなっているのではないかと思います。とにかく時間通りに学校へ登校することが大事。当たり前だけど今は当たり前じゃないのかもしれない。宿題はあくまで家庭学習です。そこへのプレッシャーの与え方を今一度見直す必要があると思えます。

→【③家庭学習の取り組み】については、大変よい・よいを合わせて36%と、たいへん低い評価となっています。家庭学習は、家庭で学習することを習慣化することが第一の目的であると考えます。その上で、学習の振り返りをして定着を図ったり、自主学習で自分に必要な学習内容を考えたり、自分が興味のあることについて自発的に調べたりする主体的な学習態度を身に付けたりすることができたらと考えます。そのためにも、宿題の内容や量については、めりはりをつけるなどの工夫をすることや、家庭での取り組みについてはご家庭にお任せすることも念頭に置きながら、より子どもが前向きに取り組むことができる方法を考えてまいります。

- 自転車で低学年の子がヘルメットなしで、一人で江部の信号あたりを乗っている。何人か見たことがある。自転車を乗る際のルールは子供と保護者は知っているのか？ほとんどの子は4年生になるまで学区全体を乗れないので、それまでは我慢して歩いて遊びに行っている。守っていない子がいるのは学校の周知が足りないからなのではないか。
- Ⅲの3のアンケート(9)交通安全は、形として見えますが、不審者対策は、どのように先生方はしていますか？心掛けていますか？
- 朝の昇降口の戸はいつ閉めているのか？8時半を過ぎても開けっ放しになっている。不審者が入りやすい学校。
→自転車乗りについては、年度初めに保護者・子どもにルールを周知したいと思います。また、折に触れ、安全な自転車乗りについて、ルールの確認とともに指導してまいります。不審者対策については、児童を対象に実際の場面を想定した不審者対応訓練を実施しております。ご意見をいただき、昇降口の扉を子どもたちの登校後、休み時間後等、児童の出入りの少ない時間帯には閉めることを全職員で行っております。今後、防犯カメラの設置等、具体的な取り組みについて検討してまいります。

ひらのっ子応援団運営委員会の皆様のご意見

- コロナ禍での学校運営も地域との関わりも、経験したことのない中での取り組みとなり、大変苦慮されたことと思えます。しかし、コロナとの共生と言われるようになり、今後はコロナ禍前の運営に戻すのではなく、「変えられるものは変えていく」ことを前提にしての議論が必要ではないかと考えます。ただ、どう変わればよいのかの答えを持ち

合わせておりませんが、子どもたちのために学校も保護者も地域も変わっていければいいなと漠然と感じております。

その他、いただいたご意見については、すべて全職員で共有し、職員会、教務会、学年会等で検討しております。今後ご意見やご質問などございましたら、遠慮なく学校へお知らせくださるようお願いいたします。よりよい学校運営、児童支援にいかしてまいります。

| |
|--|
| 担当：教務 TEL:0269-22-2097 FAX:0269-22-7597 E-mail hirano@g.nakano-ngn.ed.jp |
|--|